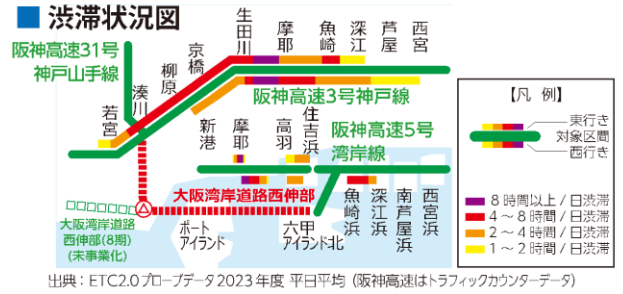
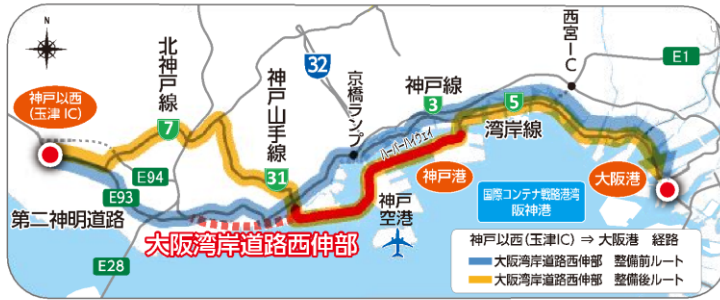
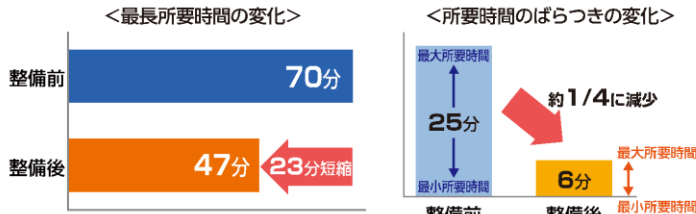


1 定時性の確保

阪神高速3号神戸線は全国都市高速道路の中で渋滞による損失時間が最も多い路線です。大阪湾岸道路西伸部の整備により、交通が転換することで混雑が緩和され、国際コンテナ戦略港湾（阪神港）などの物流拠点への定時性が確保されるなど、物流の効率化が期待されます。



■ 神戸以西(玉津IC)から大阪港への所要時間



出典：国土交通省調べ ETC2.0 プローブデータ（2023年11月 平日昼間12時間）より算定

■ 全国都市高速道路の渋滞損失

順位	路線名	渋滞損失時間 (万人・時間/年)
1	阪神高速3号神戸線（下り） 西宮JCT～第二神明接続部	292
2	阪神高速3号神戸線（上り） 第二神明接続部～西宮JCT	253
3	首都高速湾岸線（西行） 東園道接続部～葛西JCT	168
4	阪神高速13号東大阪線（上り） 東大阪JCT～東船場JCT	159
5	首都高速5号池袋線（上り） 美女木JCT～板橋JCT	154

全国ワースト
1位
2位

出典：R2.6.8 国土交通省公表資料
※JCT区間別の渋滞ランキング
<年間合計>

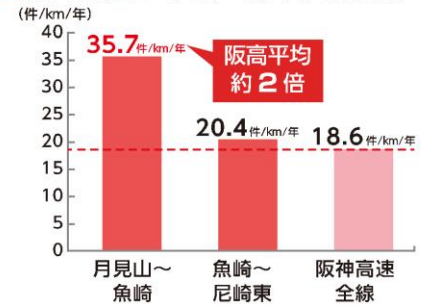
2 代替路の確保

阪神高速3号神戸線では、建設から50年以上経過し、構造物の長寿命化に向けた更新事業による通行規制を実施しています。また、交通事故が多発し通行規制になることも多い区間です。大阪湾岸道路西伸部の整備により、代替路の確保が可能となり、更新事業や事故発生時の一般道への交通集中が緩和されます。

■ 高速道路の更新事業対象箇所



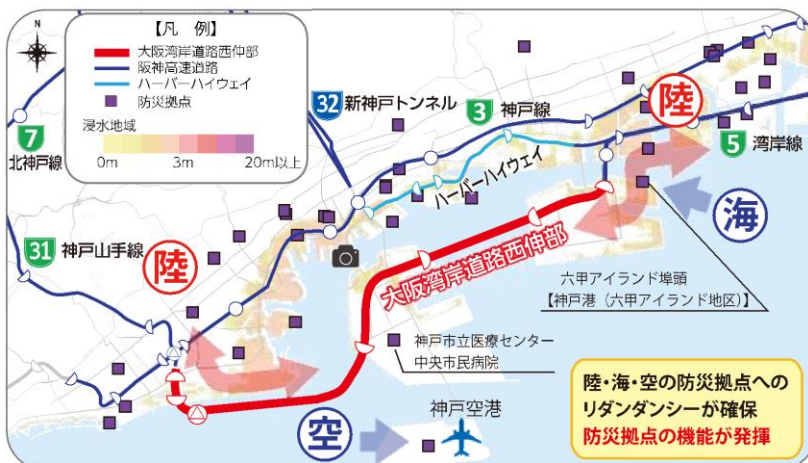
■ 阪神高速3号神戸線の事故件数



出典：阪神高速道路局調べ（2023年度事故データ）
※兵庫県域・本線部とランプ部の事故件数

3 災害時の交通確保

自然災害の激甚化・頻発化により、高潮や津波による浸水被害のリスクが増大しています。大阪湾岸道路西伸部の整備により、高潮や津波の影響を受けない道路ネットワークが構築され、陸・海・空の防災拠点が機能を発揮します。



出典：防災拠点 兵庫県地域防災計画、神戸市地域防災計画
浸水地域 兵庫県津波浸水想定区域図 阪神地区（H25.12.24）、神戸地区（H26.2.19）

■ 平成7年阪神・淡路大震災 《神戸大橋ランプ部の落橋》

